

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	63%	自校A B層の割合	55%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・学習状況を把握し、基礎的基本的な習得を図るために単元テストや小テストを実施する。 ・思考力、判断力、表現力等をバランスよく育成するために、対話的な学びや発表活動を単元指導時間の10%設定する。	・単元ごとにドリルパークを活用し、確認テストを実施する。 ・定期テストに向けて1週間のstudy-weekを実施する。 ・漢字、計算、スペリングコンテストをそれぞれ年2回実施する。	・数学、英語科における少人数指導や放課後補充教室を有効に活用させ、学習の理解度を高めさせる。 ・課題や提出物の期限の徹底するとともに、提出の支援も行う。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・週1回校内委員会を開催し、指導方法について情報交換を行う。 ・個に応じた意図的・組織的な指導を行う。	・各自が目標を設定し、達成に向けた努力と自己評価を行う ・定期考査前に質問教室を実施し、個々の学力や理解度に応じた個別指導を行う。	・生徒だけでなく保護者会等を通じて家庭学習定着の呼びかけ及び、協力依頼を行う。 ・学習計画表作成指導を丁寧に行い、進捗状況も把握し支援を行う。
成果指標	・学力向上を図るための調査各教科の「授業の内容はどのくらい分かりますか。」肯定的な回答90%以上を目標とする。	・学力向上を図るための調査「授業で問題や活動に取り組んで『できた』『分かった』を感じる人が多いですか。」肯定的な回答80%以上を目標とする。	・学力向上を図るための調査「学校での授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強していますか。」1時間以上の回答80%以上を目標とする。